



録画映像はこちらから

質疑および一般質問

3月13日、16日には、15人の議員が、議案に対する「質疑」や市政に関する方針や考え方などについて質す「一般質問」を行いました。質問と答弁の内容の一部を要約して紹介します。

栗津由紀夫 市民派クラブ



犯罪被害者等の支援

議員 本市が犯罪被害者等から相談を求められた場合、相談や連携の体制はどのようになっているのか伺う。

市 警察庁が実施している犯罪被害給付制度や滋賀県警察本部の犯罪被害者サポートテレホン等の紹介に加え、草津警察署や公益社団法人おうみ犯罪被害者支援センターなどの関係機関につなぐ等の対応をしている。

犯罪被害者等支援団体への援助

議員 市として前向きに犯罪被害者等支援団体「おうみ犯罪被害者支援センター」へ何らかの援助を検討するのか伺う。

市 犯罪被害者等支援団体の援助については、市町犯罪被害者等支援主管課長会議でも話し合われたことを受け、財政的支援に向け、負担金案や協定書案の調整を図り、さらには議員から提案いただいた支援型自動販売機の導入について、調査研究していきたいと考えている。

その他の質問 ・本市の責務 ・生活資金等の貸付制度
・条例改訂の必要性

田中 香治 草政会



本陣周辺の回遊性を高めるには

議員 健康推進アプリBIWA-TEKU(ピワテク)を活用し、本陣周辺の新たな回遊性を創出する取り組みは考えられないのか伺う。

市 健康推進アプリBIWA-TEKU(ピワテク)では、現在、すでに草津宿本陣を含む観光施設やお寺などをチェックポイントに設定していることから、早々に本陣を巡るウォーキングコースの設定について、関係部局と実施に向けて調整していきたい。

地域の寺社や歴史的風景の発信

議員 SNSを通じ、本陣周辺の地域の寺社や歴史的風景を発信することについて伺う。

市 草津市文化財保存活用地域計画の作成に取り組んでおり、今後、各地に所在する未指定文化財については、地域の人々によって守り伝えられてきた地域を物語る重要な歴史文化として、地域での取り組みと連携した文化財の保存・活用と積極的な発信に努める。草津宿本陣についても周辺の歴史的スポットとあわせて発信を行う。

その他の質問 ・本陣通りの無電柱化について
・マンポについて

横江 政則 草政会



草津市版地域再生計画の連携体制

議員 草津市版地域再生計画について早期に効果を図るための市組織の連携体制を問う。

市 連携体制については、地域のまちづくり、交通、農業や商業、観光といった要素を含んでいることから、各分野を所管する各課長級職員を、今年の7月から都市計画課に兼務発令している。また、各部局の総括副部長で構成する地域再生推進委員会で精査・確認し、全庁的に地域再生の推進に取り組んでいる。

まちづくり活動への若手職員の参加

議員 草津市版地域再生計画の作成の一環として、まちづくりワークショップへの若手職員の参加を問う。

市 本市の人材育成基本方針では、目指す職員像の一つに協働する職員を掲げており、ご提案のワークショップへの若手職員の参加は大変貴重な機会と考え、ワークショップの開催趣旨を踏まえ、人材育成の位置付けや対象とする職員などを整理していきたい。

その他の質問 ・本市の危機管理体制
・指定管理施設の技術継承の実態
・会計年度任用職員の活用

中島 美徳 草政会



将来を見据えた財源確保

議員 人口減少社会に転じれば歳入のバランスが崩れ、独自事業ができなくなり市民サービスも低下していくが、市は何か対策をしているのか伺う。

市 これまでから計画的に社会基盤整備を重点的に取り組み資産価値の向上に努めてきた。今後も同様に進め、個人市民税や固定資産税の増収につなげていきたい。また、将来の人口減少を出来るだけ抑え、資産価値の向上や企業誘致、経済活動の支援などにより、財源確保に努めていく。

人口減少・超高齢社会に向けて

議員 第6次草津市総合計画の計画年度中には必ず人口が減ってくる。市税の増収や新たな財源確保を図る施策を計画に位置付けていくのか伺う。

市 現在の計画の中で、健全な財政運営を位置付けて市税収入の確保や使用料等の見直しなど17項目を挙げている。今後も適正な課税、市税収入の確保や収入率の向上を進め、同時に税外収入の確保も先進事例を参考に計画に位置付けていく。

その他の質問 ・法人市民税の増収につながる施策
・本市の未来予測

杉江 昇 市民派クラブ



第6次草津市総合計画

議員 健幸都市基本計画は、第3次草津市みどりの基本計画のみならず、すべての計画に部局横断することについて伺う。

市 健幸都市基本計画は、市の総合政策としてまちづくりの中核に健幸を位置づけ、都市計画や福祉、教育、産業振興など、健幸を切り口に分野横断的な取り組みを進めるために策定した。第6次草津市総合計画は各個別計画を健幸の側面から捉え、健幸都市の取り組みを連携・強化する計画と考えている。

本市が行う総合行政について

議員 健幸都市基本計画はすべての計画に部局横断すると考える。健幸都市づくりを市長直轄組織とし、総合行政を構築できないか伺う。

市 健幸都市づくりは、市の総合施策として市長を本部長とした推進本部の下、健康福祉部を中心に関係部局と連携推進を図っている。提案された健幸都市づくりを市長直轄組織にすることは、関係部局との連携が強化されると考える。今後の推進状況を踏まえながら検討する。

その他の質問 ・多文化共生プランの構築を鑑みた健幸都市づくりへの多文化共生の考え方の必要性

面垣 和美 公明党



気候変動時代における環境政策

議員 気候変動の時代にあって環境政策が重要である。計画策定での適応策についてと環境推進のモデル地区について伺う。

市 地球温暖化対策実行計画の改定の中で、温室効果ガスの緩和策に加えて適応策についても盛り込みたい。市民、事業者、行政等のワークショップの開催やアンケートで意識やニーズを把握したい。モデル地区については、先進事例を調査研究して検討していきたい。

人生100年時代を見据えた政策

議員 超長寿社会における多様な人生の再設計のための高齢者施策として、就労支援、リカレント教育^⑫の取り組みについて伺う。

市 シニア世代の就労支援や地域活動の応援は、昨年に、しがアクティブシニア相談窓口がJR草津駅前にオープンされた。個別のニーズに合わせたサポートが行われており、連携して取り組んでいきたい。リカレント教育は、専門的学習を求める方に包括協定大学等の取り組みに繋ぐことが必要な支援と考える。

その他の質問 ・新学習指導要領に示されたESD^⑬の実践による目指すべき教育とESDカレンダーの活用

井上 薫 草政会



市内道路の整備

議員 常盤学区における狭隘道路の改修の進捗状況と今後の計画や、地域再生に伴う幹線道路の整備の必要性について伺う。

市 市道下寺東6号線および市道北大萱志那港線の道路整備に取り組んでおり、次年度は、市道下寺下物湖岸線の用地測量を行う。また、地域再生に伴う幹線道路の整備は、事業内容等が具体的に変わった段階で道路整備の必要性や効果を検証し、事業化の検討をしている。

草津駅前地下駐車場の指定管理

議員 指定管理期間中での指定管理取消しという事態を受けて、改めて本制度の有効性と今後の方針について伺う。

市 指定管理者制度は、公の施設の管理に民間の能力を活用することで、住民サービスの向上を図ることができ、多様化する市民ニーズへの対応において有効だと考えているが、今回の事態を受けて、指定管理者制度を安定的に運用できるよう努めていく。

石本恵津子 チャレンジくさつ



介護予防・認知症予防

議員 高齢化の進行が急激に訪れる本市において、一歩先を行く介護予防・認知症予防について伺う。

市 自らの健康状態を認識し、住民同士の交流や、主体的な介護予防・認知症予防に取り組んでもらうことが大切と考える。予防に資する活動を促す情報発信や活動の支援、かかりつけ医等に携わる関係者や地域の見守りから、早期発見その後の適切な対応につながるよう相談・連携協力体制づくりに取り組む。

活動の担い手づくり

議員 活動者の拠点、新たなコラボ、人材発掘の場と期待される（仮称）市民総合交流センターについて伺う。

市 人や団体をつなぐ円卓会議やラウンドテーブルミーティングの開催支援を行う。情報共有や意見交換による気づきや学びを通じて、人材発掘や協働事業の展開につなげたい。入居する団体に属している登録団体へは関係所属を通じて、利用基準や運営方法が確定すれば、逐次詳細な情報提供を行う。

その他の質問 ・健康推進アプリBIWA-TEKU(ピワテク)の高齢者への利用促進



遠藤 覚 草政会



利便性の高い駐輪場運営を求める

議員 市外利用者、定期申込待機者が多数いる。市外利用者数の制限や料金格差を設け、草津市民の利便性を高めるべき。

市 全駐輪場での市外利用者率は約47%。駐輪場の利用により駅周辺の活性化にもつながるため、市外利用者に対して一定の制限や個別の料金設定はしない。市内利用者にも市外利用者にも不便をかけているので、今後の必要台数の整備・確保をもって対策を行う。

駐輪場整備は鉄道事業者との協議を

議員 整備は行政単独ではなく、市民・民間事業者等と協働すべき。自転車基本法等に基づき鉄道事業者に協力を求めるべき。

市 法律、条例に基づく申し入れとして、湖南4市等で継続して要望しており、今後も引き続き協力を求めていく。来年度の「草津市自転車安全安心利用促進計画」の中間見直しで、駐輪場整備も重要施策として審議していただく。

その他の質問

- ・感染症対策の備えを
- ・自治体ポイント制度の一元化

西川 仁 日本共産党草津市会議員団



学童保育所の拡充・支援員の処遇改善を

議員 希望者の入会、待機児童など、募集の現状を伺う。支援員の負担が高まり処遇改善が求められるが、キャリアアップ事業の取り組みを問う。

市 申込者1,440人のうち、入会決定者が1,262人。保留者178人中、辞退者を繰り上げて許可を行うので、入会者数は4月中旬の確定となる。支援員のキャリアアップを含めた処遇改善は重要かつ優先と考え、指定管理料や補助金の引き上げを当初予算案に反映している。

草津市立プールの根本的な見直しを

議員 入札不調になった原因を問う。VFM^⑭の発現によるPFI方式^⑮を導入した根拠が崩れているのではないかと。建設の有無も含めた根本的な見直しを求める。

市 参加表明があった2業者からのヒヤリング後に原因分析を行う。VFMの発現、長期一括発注の民間活力の活用でのサービス向上を期待し、PFI方式導入を判断した。今後は県と協議し、VFM算定を改めて行い、再度、検証する。

その他の質問

- ・草津駅前地下駐車場の管理
- ・保育所の待機児童ゼロを
- ・図書館について

川瀬 善行 草政会



高齢者に優しいまちの施策

議員 2025年には団塊世代が高齢者人口の3分の2を占めると推計されているが、その対策の一つとしている高齢者フレイル対策事業を高齢者に分かりやすく伝える方策を伺う。

市 新しい言葉であることから一般的に浸透していないが、介護や医療の現場では既に使用されている。健康寿命の延伸や高齢者の生きがいづくりに繋がるような前向きな名称として認識いただけるよう、講座等を実施する際には分かりやすいタイトル等を検討する。

コンパクトシティとして描く交通軸

議員 名所や商業地を巡るコース設定について伺う。

市 拠点と拠点を結ぶ道路軸については、現在策定中の第6次総合計画や次期都市計画マスタープランで、烏丸半島周辺や草津田上インターチェンジ周辺と草津駅、南草津駅周辺を視野に入れて拠点やゾーンを結ぶ環境軸を位置づける。

その他の質問

- ・工事中の大江霊仙寺線その1区間の完成時期
- ・平野南笠線の全線開通までの交通渋滞緩和策

服部利比郎 草政会



ICTを活用した遠隔授業

議員 小中学校の万一の休校時に、ICTを活用した遠隔授業等ができないか伺う。

市 現在はインターネットにて各教科のドリル教材を家庭でも活用できるよう支援を行っている。全ての子どもを対象とした遠隔授業のような取り組みは、自宅の通信環境も関係するため、今のところ難しいが、今後はICT教育の力を活かしていけるよう、全国の先行事例も参考にしながら研究を進めていきたい。

RPA^⑯の本格導入に向けた進捗

議員 平成30年度の共同研究開始から現在までの進捗と今後の取り組み目標を伺う。

市 平成30年度は1事業者、令和元年度は2事業者との共同研究によって、資産税の所有権移転業務をはじめ、計6業務においてテスト運用までを含めて実証実験を行った。令和2年度は共同研究の結果に基づき、最も費用対効果の見込める3業務において、1年間に1,580時間の削減を目指す。

その他の質問

- ・市ホームページにおける市民へのスピーディーな情報発信



^⑭VFM Value For Moneyの略語。PFI事業における最も重要な概念の一つで、従来方式に比べてPFI方式が総事業費をどれだけ削減できるかを示す割合。
^⑮PFI方式 公共施設等の設計、建設、維持管理および運営に、民間の資金とノウハウを活用し、公共サービスの提供を民間主導で行うこと。
^⑯RPA Robotic Process Automationの略語。人工知能を備えたロボット技術により、定型的な事務作業を自動化・効率化すること。

伊吹 達郎 草政会



運転免許証を自主返納しやすい環境づくり

議員 運転免許証自主返納高齢者支援制度の各種サービスを受けるために必要な運転経歴証明書の発行手数料の無償化および補助金制度を設立してはどうか。

市 運転経歴証明書発行手数料1,100円は、交通安全協会等が滋賀県警察の委託を受けて徴収している。他市の事例を調べても無償化に至っていないところはないが、関係機関と協議しながら検討を進めていきたい。

草津市版MaaS[®]導入の可能性

議員 「誰もがいつでも安心して移動できる持続可能で健幸な交通まちづくりの実現」のため本市オリジナルMaaSアプリの導入について伺う。

市 MaaSの可能性については、鉄道、路線バス、コミュニティバス、デマンド型乗合タクシーなどの交通手段を組み合わせ、乗り継ぎをしやすい交通まちづくりを進めていく上で有効なシステムであると考えており、導入に向けて関係機関と検討していく。

その他の質問

- 自動運転技術の導入
- まめタク社会実験の方法
- 福祉分野と連携した移動手段の充実

小野 元嗣 草政会



新火葬場への葬祭場併設

議員 通夜、告別式、火葬、初七日と同一会場で終える火葬場と葬祭場の一体化が市民や利用者の利便性向上になるが、併設整備の考え方を問う。

市 併設整備は、施設規模も大きくなり相当数の駐車場台数が確保できる用地が必要となる。葬祭場の整備については、栗東市とともに整備運営費用や民間事業者との関係などを総合的に勘案しながら検討する。

南草津エリア整備とまちづくり

議員 JR南草津駅周辺交通対策社会実験の必要性と、実験結果を踏まえて解決に向けてどのように推進していくのか問う。

市 本社会実験は、駅前ロータリーおよび周辺地域の交通渋滞を解消するための取り組みとして、公共交通の利便性を向上させるために実施する。大学や関係企業、交通事業者とも連携を図りアンケート調査を実施する。社会実験結果の効果を検証し、公共交通の利便性が高まると判断できれば恒久対策に向けた検討を進める。

その他の質問

- 防犯カメラ補助金増額
- 交番および防犯ボックス設置
- 動物火葬炉設置

**政治倫理研修会を実施しました
「議員が守るべき政治倫理」**

去る2月21日(金)に立命館大学法学部の駒林良則教授を講師としてお招きし、「議員が守るべき政治倫理」と題して政治倫理研修会を実施しました。この研修をもとに、さらなる政治倫理の向上を目指して、今後も議員全員で邁進してまいります。



西田 剛 草政会



草津駅前再開発事業のこれからの考え方

議員 クロスアベニュークサツの竣工を受け、駅前角地であるD地区も再開発することで、駅前がより利便性・安全性の高い都市空間が実現できると考えるが、市長の想いを改めて確認する。

市 駅前の新たな魅力が誕生したことから、隣接するD地区、さらにE地区においても、関係者の皆様による再開発事業の機運の高まりと醸成を期待し、今後も権利者や地域の皆様と駅前のまちづくりについて、継続的に意見交換等を行っていく。

幼児の運動遊びプログラムモデル事業

議員 2園のモデル園の実施結果や成果について、どれくらいの期間でいつどのように判断できれば本事業として実施してもらえるのか。

市 子どもの運動能力や活動量を数値化して成果や課題を分析し、研修等を通じた職員の意識の変容や子どもの変化を可視化し、年度末には「実践事例集」を取りまとめる。本モデル事業で効果が得られれば、今後、市内公私立の保育施設に情報提供し、「健全な身体作り・体力作り」の取り組みを広げていきたい。